

液状日焼け止めに粉体を高配合し 耐水性と安定性を両立する技術の特許取得

ミスト状・スプレー状の日焼け止めの使用感向上に寄与

株式会社ナリス化粧品（代表者：村岡弘義 本社：大阪市福島区）は、液状の日焼け止めでありながらサラサラ感を感じる粉体を高配合した日焼け止めの処方開発に成功し、特許登録に至りましたのでその内容を以下に報告します。

【これまでの研究】

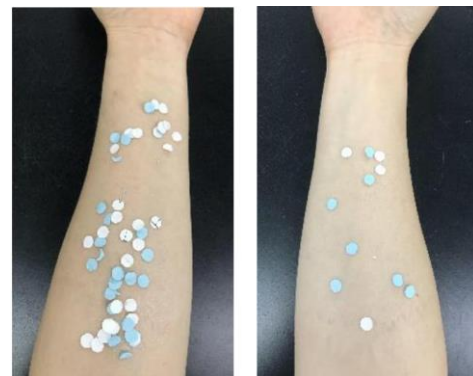
近年、一年を通して夏の期間の長期化と猛暑化傾向にある環境下において、日焼け止めは今や老若男女を問わず多くの人に使用されるアイテムとなっています。各社の研究開発によって現在ではクリーム・ジェル・ミルク・ミスト・パウダーなど多種の剤型の日焼け止めアイテムが製品化されていますが、当社では1993年にエアゾールタイプのスプレー状で噴霧することで広範囲に塗布することができる日焼け止めを発売するなど、早くから日焼け止めの新しい剤型の研究を行ってきました。近年の日焼け止めの研究テーマとしては、塗布時の簡便性や心地よさとその持続性や耐水性など、より快適に使用できる品質を生み出すことに注力しています。快適な使用感を演出するためにはサラサラ感を感じさせるための粉体を安定的に配合する技術が問われますが、高濃度配合すると粉体が沈降して固化するため、使用感の悪化やスプレーの噴射時に詰まるという問題が生じ、高配合することは困難でした。

【特許の内容】

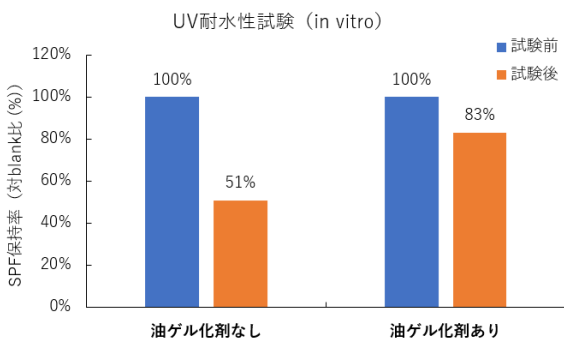
今回の特許登録技術は、塗布時の心地よさと耐水性の向上をめざしたものです。液状の日焼け止めは、肌に噴霧した後に乾くことで肌への密着性・定着性を実現する必要があり、これまでの乳化物ベースの日焼け止めは、この点において改

善の必要がありました。そのためには乳化系から油系に変更してアルコールを配合する方法が考えられますが、アルコールを配合するだけでは粉体が沈降・固化してしまい、ミスト化して

使用することができない状態に陥ります。また、アルコールの比率が高くなると消防法上の危険物となり、貯蔵や取り扱いに厳しい設備基準が適用されます。当社では、特定の油性ゲル化剤を組み合わせることで、一般的な化粧品製造設備での製造を可能にし、粉体を高配合して安定させる技術を確認しました。またこの技術は耐水性にも優れていることを確認しています。



前腕内側部へ塗布直後のべたつき感の比較 紙片の付着を確認
左：乳化系の液状日焼け止め 右：研究品



耐水性の確認



before

after

着色した研究品を塗布 30分後にティッシュで10回擦り取ったもの

【特許登録番号】7844308

【登録日】2026年4月3日

【名称】日焼け止め化粧料

【発明者】ナリス化粧品 研究開発部 伊達正剛

【本件に関するお問い合わせ】株式会社 ナリス化粧品 経営企画室 広報 横谷(よこたに)
〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目11番17号 TEL:06-6346-6672
FAX:06-6346-6569 E-mail:narispr@naris.co.jp HP:www.naris.co.jp